

## 2026 年度市・県民税申报书的填写例

填写的年月日

宛名番号

住址

工资收入

社会保险金扣除

生命保险金扣除

地震保险金扣除

该当以下内容时、请填写配偶者的(1)个人号码・(2)出生年月日・(3)姓名・(4)收入等。

配偶者扣除

配偶者特别扣除

扣除对象配偶者之外的同生计的配偶者

※有扣除对象配偶者之外的同生计的配偶者时、请在□内打上“√”。

令和8年度市民税申告書

受付印

個人番号 (我的号码)

出生年月日

自家或手机的电话号码

工作单位的电话号码

工作单位的公司名

前年中に収入がなかった人等は、裏面14通信欄に記入してください。

1 所得 (令和7年1月1日～12月31日)

2 所得控除

医疗费的扣除

上一年中的合计所得金额在 500 万日元以下(事实上没有与进行了婚姻关系同样者存在的情况)、接受以下的扣除时、请在相应的□上打“√”。

寡妇扣除

与丈夫离婚、有除了孩子以外的扶养亲属时

丈夫去世或丈夫生死不明时

□死別 □生死不明

□离婚 □失踪

请在其中的一个□上打“√”。

单亲家庭的扣除

现在是未婚者或配偶者的生死不明者、有总所得金额等在 58 万日元以下的同生计的孩子时

□父 □母 请在其中的一个□上打“√”。

残疾人扣除

申报者或配偶者、扶养亲属是有残疾时、请在身体/精神/智能的该当处画上○、并填写上等级。

扶养扣除

[3] 亲属关系 :

关于配偶者或扶养亲属等、请在同居/分居的该当项目上画○。

分居时、配偶者或扶养亲属等居住在国外时、请填写其国家名、居住在日本国内时、请将其住址填写在申报书背面的[13]处。

特定亲属特别扣除

同生计的 19 岁以上未满 23 岁的亲属、上一年中的合计所得金额超过 58 万日元但在 123 万日元以下时、请填写[1]～[4]・[5]的收入、在「特親(特定亲属)」处画○。

### 3 事業(営業等・農業)所得の計算

項目	金額
収入金額	
売上(収入)金額 ①	円
家賃・消費・その他収入 ②	
計①+②(表面B-Dへ転記) ③	
経費	
売上原価 ④	
給料・賃金 ⑤	
租税公課・損害保険料 ⑥	
光熱費・通信費 ⑦	
修繕費 ⑧	
減価償却費 ⑨	
道賃・船料・郵便費 ⑩	
小作料・賃借料 ⑪	
土地改良費 ⑫	
消耗品費・雜費他 ⑬	
⑭	
総合計(④~⑬の合計) ⑯	
寄附者控除額(⑯から転記) ⑯	
所得金額(③-⑯)(表面Cへ転記)	

### 6 所得金額調整控除

項目	金額
氏名	統合

### 4 不動産所得の計算

貸した不動産の所在地	
貸した相手の氏名	
種目	土地・家屋
金額	円
収入金額(表面Fへ転記)	①
利税公課・損失保険料	②
借入金利子	③
修繕費	④
減価償却費	⑤
雜費他	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩
⑪	⑫
総合計(①~⑪の合計)	⑯
寄附者控除額(⑯から転記)	⑯
所得金額(①-⑯)(表面Gへ転記)	

### 5 給与収入明細

月	収入金額	勤務日数	勤務先
1		日	(会社名・所在地・電話番号)
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
賞与	貯		
	冬		
計			(表面Aへ転記)

是工资所得者、但没有源泉征收票时、请填写以下内容。

- 每个月的收入金额
- 工作日数
- 工作单位的公司名、所在地、电话号码
- 奖金的金额
- 合计金额(请将合计金额转记至申报书正面「工资(給与)」的「收入金额」栏A处。)

### 6 所得金額調整控除

項目	金額
氏名	統合

【給与等の収入金額250万円超で次のいずれかに該当する場合、対象の方の個人番号や氏名等を記入してください。】

（三人が特別扶養対象であるかの件明を記入してください。）

（250万円の収入金額を有する）（扶養扶助料金等を記入してください。）

（扶養扶助料金等を記入する）（扶養扶助料金等を有する）（扶養扶助料金等の合計を記入してください。）

### 7 雜損控除

【費用超過控除額がある場合は、正明書等(原本)が必須です。記入されると正明書等は返却しません。】

損害の原因	損害額	資産の種類	損害額	扶養扶助料金等を考慮する場合	扶養扶助料金等を考慮する場合

### 8 寄附金税額控除

【正明書等(原本)が必要です。記入された宛て書等は返却しません。】

寄附金等の区分	金額
寄附金等の区分	金額

### 9 事業専従者の内訳

※専従者の個人番号を記入してください。

個人番号	大・中・小	年	月	日	所在税における青色申告承認の有無
氏名	統合	従事月数	専従者	扶養親族	大・中・小
個人番号	大・中・小	年	月	日	有無
氏名	統合	従事月数	専従者	扶養親族	

### 10 分離課税所得・山林所得等

(単位:円)

特例適用条文
本年分が算定し引く
翌年以後に算り取扱
損失
扶養親族
扶養親族

### 11 市県民税の納付方法

給与・公的年金等に係る所得以外(令和8年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外の所得に係る納付方法(希望の収取方法にし印を付けてください。))

【附別微取(給与から差引き)】 【附逆微取(逆分で納付)】

### 12 事業税に関する事項

1次申込 所在地	手続税 所得等	年間収入 年月日	開業・廃業 年月日
事業用資産の譲渡の種類	損失額・被災損失額(白)	損益算定の特例適用前の不動産所得金額	

### 13 別居の扶養親族等に関する事項

氏名	住所
氏名	住所

### 14 通信欄 前年中収入がなかった人や収入のない期間があった人等は記入してください。

(該当するものに○印を付けるか、又は記入してください。)

1 下記の人の(家族等)の収入等で生活していた(希望等以外の金額を記入してください)。	4 屋内保険(火災保険)を受取っていた。(期間: 年 月 ~ 年 月)
氏名	申告者との被相続
住所	
2 令和8年1月1日は豈出市以外に居住していた。	5 生活保護(生活扶助)を受けていた。(期間: 年 月 ~ 年 月)
居住地	6 パート・アルバイトをしていた。
【居住地(市町村名)と理由を記入】	→給与がある者は給与収入明細を記入してください。
居住(予定)期間: 年 月 ~ 年 月 理由:	7 その他のどのように生活を立てていたかわかるように具体的に記入してください。(A~Dに該当するものがあれば○印を付けてください。)
(国内かつ国外に居住している場合、当該市町村に譲渡方法を記載させていただきます。)	A: 賃金を取り崩して生活していた。 B: 見暮扶養等をもらっていた。
3 A 賃貸年金・B 賃金がい年金・C 賃貸扶助等で生活していた(該当に○印)。	C: 被育児をもらっていた。 D: 前半中は国外に居住していた。

上一年无收入者或有无收入的期间者、关于上一年中的生活状况、请在该当项目上画○或进行填写。

- 以家人等的收入等进行生活时: 请填写家人等的姓名・亲属关系・住址。
  - 2026年1月1日、居住在丰田市以外时: 请填写居住地。居住在国外时、请填写居住的期间与理由。
  - 以 A 遗族养老金・B 残疾养老金・C 退休金等生活时: 请在该当项目上画○。
  - 领取了雇用保险(失业保险)时: 请填写领取的期间。
  - 接受了生活保护时: 请填写领取的期间。
  - 做计时工・打工时: 有工资的期间、请将工资收入的明细填写到5处。
  - 其他情况时: 关于去年的生活状况、是怎样维持生计的、请进行详细地填写。
- 例如: 以储蓄存款进行生活。 例如: 上一年中、居住在国外。 等